

お口のくち

健康情報室

前回に引き続き、MRON J(エムロンジェイ)について説明します。今回は症状の変化や、治療方法についてです。

初期段階は歯ぐきが腫れたり、口の中に違和感を感じたりする程度です。その後、次第に口の中の痛みが続いたり、口臭が強くなったりする症状が現れます。さらに症状が進行すると、あごの骨が露出する場合があります。放っておくと、感染が広がり、骨が壊れることもあります。症状が進行すればするほど治り

「MRON J」検診で予防

にくく、治療には長い期間が必要となります。

エムロンジェイを予防するには、歯科医師の検診を受けること、抜歯や歯の治療を受ける前に医師と相談すること、口の中を清潔に保つことなどが大切です。薬による治療を始める前に心がけましょう。

歯科受診する場合の注意点があります。「骨粗しょう症」の注射薬は6か月に1度、薬物療法は年単位という長い期間での治療となります。このため、歯科を受診する際には、いつ薬物を投与されたかを歯科医師にお伝えください。

注射薬はお薬手帳に記載されないこともあるため、必ず口頭で歯科医師に伝えるよう

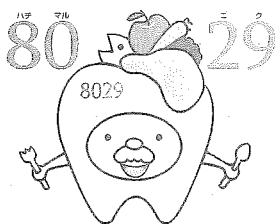
にしてください。

繰り返しですが、エムロンジェイは医科・歯科・薬科の3者による医療連携が重要です。特に「骨粗しょう症」や「がん」の治療を受けている人は、歯のケアと定期的な歯科検診がとても大切です。

気になる症状があれば、早めにかかりつけの歯科医師に相談しましょう。

(千葉県歯科医師会)

健康長寿の合言葉!!



「8029運動」PRキ
ャクター もべい